

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 10 月 6 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700295		
法人名	株式会社 新風会		
事業所名	グループホーム 星城		
所在地	大洲市徳森字土肥 1 7 9 0 番地 3 (電話) 0893-25-2425		
管理者	森本 あけみ		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 9 月 1 日	評価確定日	平成 20 年 20 月 7 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 2 月 27 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤 15 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 20.1 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	240 円	昼食 380 円
	夕食	380 円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 1 日事業所記入)

利用者人数	26 名	男性 2 名	女性 24 名
要介護 1	4 名	要介護 2	10 名
要介護 3	9 名	要介護 4	2 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 82.8 歳	最低 80 歳	最高 92 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設以来5年6か月が経過し、実績を積み重ねてきているホームである。看取りに関する理念を、『認知症という「疾病の経過」にお付き合いするのではなく、認知症という疾病を抱えてしまった「その人の人生」にお付き合いする』と表現しており、これは日常的な介護の現場に相通じるものであるとの共通認識を持っている。職員は、利用者にとって少しでもよいホームにしたいとの願いから、レクリエーション、企画、環境、献立、関わりの各委員会を立ち上げ、3ユニット協働で理念の達成に取り組んでいる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

地域の理解を得ながら地域に溶け込めるよう地域行事に積極的に参加したり、運営推進会議を通してホーム行事をオープンにして地域の方の参加を得たり、書式やマニュアルを具体的に検討して内容を含めファイルの仕方まで工夫するなど、改善に熱心に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員が全項目について自己評価に取り組んでいる。前回評価からの一年を振り返り、改善できた点、更に深めたい点等、具体的に検討している。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議は定期的開催し、資料や会議録を保管している。会を重ねるにつれ運営もスムーズになり、多くの情報交換が可能になっている。年間・月間事業計画等を説明して理解や協力を得たり、ホームの理念を年間目標として表わし、その達成に向けて努力していることなども話し合っている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

各ユニット毎に、毎月ホーム便りを作成して郵送しているほか、体調不良時及び行事案内等も利用者を担当する職員から電話連絡している。苦情に関する連絡先や意見箱は玄関に設置しているが、家族の利用はない。ホームの「家族の率直な意見をうかがいたい」との願いから、年2回家族との懇談会も開催している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域との交流を深めたいとの思いから、毎月地域向けの新聞を発行し、各家庭に配布している。また運営推進会議からの情報で地域の清掃活動、祭り、文化祭等に参加すると共に、ホームで夕涼み会を主催し、子供を含め多くの方に参加してもらい、好評を得ている。今後もさらに地域との関係を深めるための取り組みを地道に続けていくことを期待したい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム星城

(ユニット名) 1Fフロア

記入者(管理者)
氏名 森本 あけみ

評価完了日 平成 20 年 7 月 31 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ・年間目標に取り入れホーム内に明示している。 (外部評価) 法人の運営理念には地域密着型サービスの役割は明記されていないが、ホーム独自のものとして年間目標という表題の全職員で検討した理念があり、地域との関わりを大切にしたいという気持ちが表現されている。	※	地域の方々とのふれあいが持てる企画を8月下旬に予定。また、二年間に一回の地域文化祭にも参加の予定あり。年間目標を達成したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ・理念に対し目標をかかげているが、具体的取組みがなされていない。 (外部評価) 全職員で検討し表現した年間目標に基づき、各ユニット毎の目標、職員個人別目標も設置し、理念の実践に向けて努力している。	※	管理者、スタッフが共有し、進んで取り組める環境作りに努めたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ・地域新聞の回覧はできているが、地域への啓発が不十分のため、理解してもらえるようにして行く必要がある。	※	理解していただけるように、地域行事に参加して行くと共に、日頃からホームをオープンにし、交流できるような環境作りに努めたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・挨拶をかわしたり、地域新聞の回覧は行っているが、立ち寄ってもらえるような付き合いはできていない。	※	気軽に立ち寄って頂けるよう、玄関まわりへの配慮と行事へのお誘いを続け、顔なじみの関係を築いていきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・地域新聞の回覧、地域清掃活動、お祭り、保育施設との交流がある。 (外部評価) 地域との交流を深めたいとの思いから、さまざまな努力や工夫をしている。地域向けの新聞を毎月発行して各家庭に配布したり、地域の清掃や祭りに参加するほか、平成20年はホームで夕涼み会を開催し、子供を含め多くの方に参加してもらえ、好評を得ている。	※	文化祭への参加など、運営推進会議などで情報収集した事を活かし、積極的に交流したい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・ホーム機能が、地域に還元されていない。		地域の高齢者や、家族との交流の場を作って行く。認知症への理解や関わり方など、相談対応などを行い貢献していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・職員一人ひとりが、自己評価を行いフロアで話し合い、自己評価を提出。外部評価後は、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 全職員が全項目について自己評価に取り組んでいる。前回の評価からの1年を振り返り、改善できた点、更に深めたい点等具体的に検討している。	※	評価を活かし、具体的な改善に取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ・二ヶ月に一回、運営推進会議を実施し報告、意見交換を行い、向上に活かしている。 (外部評価) 運営推進会議は2か月に1回開催し、記録もきちんと保管している。会を重ねるにつれ運営もスムーズになり、多くの情報交換も可能になっている。構成メンバーに利用者や家族も加わり、より積極的な会議になることが予測される。職員も会議に参加したい希望を持っており、今年8月に開催したホームの夕涼み会を推進会議と位置付け、全員で参加している。	※	各ユニットの職員も参加してもらうようにする。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ・サービス担当者会議への参加 ・市との情報交換 ・社内研修講師の依頼 ・入居希望に対する相談 (外部評価) 市主催の各種研修会や会議に参加したり、介護相談員も受け入れている。また、運営推進会議の構成メンバーとして、また法人主催の研修会の講師として参加していた。だいている。	※	全職員が順次出席し、市町村との連携によるサービスの質の向上への取組みを理解するように努めて行きたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・研修会等の参加者は研修報告を行い、学ぶ機会を持っているが、職員全体が理解できていないため、勉強会を重ねる必要がある。	※	現在必要とされる方はいらっしゃらないが、制度を理解し、必要と考えられる方を支援して行きたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ・職員全体で虐待防止に努めると共に、虐待につながる対応がないか、日頃から職員は気をつけている。	※	職員は情報交換をし、対応について検討をし、虐待を見逃すことがないように対応している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・家族とホームの考え方を互いに理解し、十分な説明を行い、書面にて同意、契約を行っている。		必要時、家族に同意をお願いしているが、十分に説明し、理解、納得をしていただけるように対応している。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・介護相談員の訪問を受け、苦情等を外部者に言える機会を設けている。		職員に随時苦情又は相談できる環境作りに努めており、また介護相談員に訪問してもらい、外部者へ苦情又は相談できる機会を設けている。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・面会時や電話での報告 ・星城新聞の発行は行っているが、定期的に報告は行っていない。	※	家族専用のホームページ作りなど、日常の利用者さんの生活を見ていただき、意見交換などを行ってみたい。
			(外部評価) ユニット毎に毎月ホーム便りを作成し、郵送している。また、体調等の変化について、行事の案内やその他必要時には利用者を担当する職員が電話で連絡している。	※	家族はほんの些細なことでも利用者の状況を知らせてもらうとうれしいものであるため、更なる取組みを期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・苦情窓口の設置、意見箱の設置 ・家族さんの意見、希望を聞き、職員間で話し合い実施している。	※	意見箱を設置するほか、定期に家族との懇親会を実施し、家族及び利用者からの苦情及び意見を聞き、運営に反映できるよう努めている。
			(外部評価) 苦情に関する連絡先をホーム玄関に表示し、意見箱も設置しているが、家族等に活用されたことはない。ホームとしては家族の率直な意見をうかがいたいと願いから、年2回家族との懇談会も開催している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ケアカンファレンス、業務カンファレンスを行い、話し合う機会がある。		職員の意見を管理者が間に入り伝え、意見の反映をさせてほしい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整を努めている	(自己評価) ・勤務調整に困難な時がある。		利用者の状態や生活の流れを支援するために、これに即した勤務ローテーション作りを考えていきたい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・利用者への配慮は少なく、運営者側本位で決定している。しかし、職員は3ユニットの特色を活かし、馴染みの関係を日常的に行っている。	※	馴染みの支援が重要であるため、職員の意見を取り入れ、異動は最小限にしてほしい。
			(外部評価) 同法人が経営する事業所間での、経験や馴染みを考慮した異動はあるが、利用者にならざる動揺を与えていることも考えられるため、その都度、職員は細心の注意を払って支援している。	※	マンネリ化を防ぐための異動も含めて、メリット・デメリットを十分検討した上での対応であると思われるが、利用者最優先の視点で取り組んでいくことを望みたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・実務研修、管理者研修、GH連絡協議会への研修等に参加している。	※	段階に応じた研修の受講を実施したい。
			(外部評価) 研修案内等の情報は管理者から職員に伝え、希望者を募るシステムになっている。資格取得のための研修以外は常勤・非常勤を問わず参加でき、報告書を提出すれば経費の補助もあり、受講者はホーム内研修会で報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) ・グループホーム連絡協議会の研修参加 ・サービス担当者会議におけるグループホーム見学等に参加し、交流を通しサービスの向上に取り組んでいる。 (外部評価) 同法人が経営する事業所間での交流はできている。その他事業所とも交流を持ち、研修を通してサービスの質の向上を図りたいとの思いが実り、市サービス担当者会議主催で、互いのホームを見学・交流することになっている。	※	相互訪問等の活動による交流を続けて行きたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ・職員の悩みやストレスを解消する方策が採り入れられていない。	※	・職員相互の親睦
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ・年間目標を各自がかかげ、努力しているが、向上心を持って働ける環境でない。	※	運営者の定期的な訪問が必要
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・事前調査 ・家族さん本人さんとでホーム内を見学して頂き、入居前から機会を作り取り組んでいる。	※	家族さん、本人さんとゆっくり話しをする機会を持つよう取り組みたい。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・事前調査時、家族の同席をお願いし、家族の思いを受け止めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ・他のサービス利用は行っていない。	※	
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ・家族の援助可能ところで、かかりつけ医への受診をお願いする。 (外部評価) まずホームを見学してもらい、入居を希望した場合は丁寧に面接して馴染みの関係づくりに取り組むなど、利用者の安心と納得を大切に支援に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ・利用者一人ひとりの人格を尊重し、家庭的な支援を提供している。 (外部評価) 職員は業務に追われることもあるが、必ず利用者とはゆっくりした時間を持つよう心がけており、明るく穏やかな表情で対応している。	※	・利用者と関わりを持つ ・感謝の気持ちをわすれない
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・家族の意見や要望を引き出す働きかけをしている。面会時の声かけ、行事への参加をお願いしている。	※	ホームを訪ねやすくする工夫をして行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・家族への日常の様子に関する情報提供 ・定期的な電話連絡、外出、外泊時の交流できる機会作りを支援している。	※	行事への参加、家族さんが利用者さんと触れ合う機会を作ってきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ・行きつけの散髪屋さんへの送迎 ・外出先にて知人に会った場合には、お話ができるように支援している。	※	本人が会いたいと思っている方に会いに行く、また、行ってみたい場所にホームから連れて行ってあげられるような支援をしたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ・気の合う利用者さん同士の関わり合いを大切に努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・入院された利用者さんに対しては、必要時対応している。 ・契約が終了してからの関係はできていない。		必要とされる利用者、家族さんとは、定期的に情報をいただき、安心して生活できるように支援して行きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ・日常の談話にて、同じ目線で利用者に関わり、想いや希望を聞き出す機会を作っている。 (外部評価) 本人の思いや希望は日常の会話や行動などから把握しているが、職員全員が共有するための記録は残されていない。	※ ※	 気付きノートに記録した内容は、日々のケアやカンファレンス時の大切な資料として有効に活用できると思われるため、活用等への取り組みを工夫することを望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ・アセスメント不足である。本人さんや家族さんからの聞き取りした事が、スタッフ間で共有できるよう記録する。	※	コミュニケーションを深め、情報の収集、把握に努めている。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ・できる事、できない事を把握し、日々の生活の中で気をつけて対応する。	※	職員間での情報共有と気づきを大切にできるよう職員の育成をしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人、家族の希望を聞きケアカンファレンスにて検討し、介護計画を作成している。	※	家族さん、本人さんを含め、理念にそったケアプランの作成をしていきたい。
			(外部評価) 家族の来訪時や電話等で思いや希望を聞き、その情報は毎月のカンファレンスで共有し、検討している。外泊や墓参りの希望等はケアプランの中にも反映している。	※	情報を把握した職員が不在の場合などには情報が有効に活用されないことが想定されるため、家族等から得た情報をその都度職員間で共有できるような記録方法等についてさらなる検討を期待したい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ・毎月、ケアカンファレンスを実施し、ケアプランの期間が終了する際に見直しをおこなう。 ・状態変化に応じた随時見直しを行う。	※	家族さんや本人さんの意見を聞く場を持ち、介護計画に反映できるようにしていきたい。
			(外部評価) 毎月カンファレンスを行い、3か月に1回見直しを行い、また状況に変化があればその都度変更している。利用者一人一人の情報不足も実感しており、センター方式を活用する取り組みをはじめている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ・日々の介護やケアプランに反映させるため、利用者一人ひとりの特徴や変化を具体的に記録している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 医療連携体制看護師との連携を密にすると共に、協力医療機関からの往診等により医療面を支援している。また、法人内の各GHとの交流及び保育施設園児との交流等、事業所の特色を活かした支援ができるよう努めている。 (外部評価) 運営者は入院設備を持つ診療所の医師でもあり、医療に関するサービスは行き届いている。また、墓参り、仏事への参加、外泊支援等にも対応している。	※	・1週間に1回のNS往診 ・毎朝のNSの健康チェック連絡がある
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・ボランティアの受け入れ ・保育施設悠園との交流 ・消防署の非難訓練、救命講習の実施		地域の文化祭に参加 (作品を展示していただく予定)
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ・本人の意向で理美容サービスの利用を支援している。	※	理容店、美容店の出張サービスの利用
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ・現在、権利擁護については使用されている利用者はいない。		法人内に相談窓口があり、必要に応じて相談をすることができる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・本人や家族の希望する病院を受診して頂く事ができる。 (外部評価) 入居時に本人及び家族の意向を十分確認している。基本的には協力医療機関を主治医に選ぶケースが多いが、協力医療機関になっていない専門医等へも受診を支援している。		家族の意向により、協力病院以外の病院に行く事ができる。必要時は受診援助もしている。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 精神科の医療機関と協力医療機関契約を交わしており、必要時には連携をとっている。	※	・専門医との連携 ・定期的な受診の実施
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・1週間に1回のナースの来所 ・神南診療所のナースより毎朝の連絡 その都度、報告、指示を仰いでいる。	※	ナースとの情報を共有し、相談、アドバイスを頂けるよう取り組みたい。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・サマリー等で情報を伝え、利用者が安心して入院生活が送れるよう支援している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時に看取りに対する指針の説明を行い同意を得ている。また、重度化等により看取りが必要になった場合は、再度看取りの指針についての説明を行うと共に、利用者本人及び家族の意向を踏まえ関係者間で検討を行い、同意を得ている。 (外部評価) 看取りに関する指針があり、本人及び家族に説明している。急変により看取った利用者1名のほか、看取りの指針に従って看取った方は2名おられる。職員は多職種のチームによる体制で望んだが、まだ不安が残っていると感じている。	※ ※	その人らしい終末期のあり方について、関わっている職員全員で話し合いの場を持つ。 看取りということに対する理解を含めて更に勉強していく予定とのことであるため、更なる研鑽を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ・ホーム内での生活を支えながら、必要な治療を医師にして頂き、本人、家族、職員の納得できる支援を行えるよう取り組んでいる。	※	利用者本人の希望を取り入れ、家族はもちろん、介護、看護師、病院がその人らしい終末期は何か、みんなで話し合い、支え合って行きたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・ホーム内での、生活習慣を情報として共有できるように情報交換している。		サマリー、情報提供を行っている。退居後も必要時にはT e Lにて対応している。
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ・言葉かけや対応に注意している。 ・個人情報保護に関する誓約書を取り交わしている。	※	職員は、情報をケア以外で利用してはいけないこと、守秘義務がある事で理解している。
			(外部評価) 利用者のプライバシーを損ねるような対応をしてはいけないという共通認識があるが、さらに取組みを徹底するために「関わり委員会」も結成し、徹底して取り組んでいる。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ・日々の業務で話を聞く機会を作り、利用者の希望を取り入れ、自己決定ができる様な雰囲気作りに努めている。		本人が分かる様に、声かけの仕方を変えたり、働きかけや説明を行っている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ・日によって違うが、職員側の決まりや都合で利用者と関わっている時がある。 (外部評価) 業務の都合を優先した関わりを持ってしまうこともあるが、その都度反省し、必ず利用者と会話する時間を持つことを心がけている。	※	その日一日を、どのように過ごしたいか、希望に沿って支援して行きたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ・パーマ等、希望に合わせて出張サービスを利用している。 ・本人に確認し、職員がカットしている。		外出時のおしゃれ、本人に服を選んで頂いている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・利用者の好きなメニューを取り入れている。 ・職員も利用者と同じ食事を一緒に取り、食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートを行っている。 (外部評価) 重度化が進む中、一部の利用者ではあるが準備や片付けに参加している。調査日の昼食は「寿司」で、共に作業する利用者の姿や、鼻歌混じりの食事風景もあり、お茶をこぼした利用者を手助けする利用者の姿も見られた。		それぞれの利用者が出来る事を協力しながら、食事を楽しむことができるよう支援している。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ・利用者の好みを把握し、買い物時にビールの購入、おやつを購入を一緒に楽しめるようにしている。		本人の希望に沿って、嗜好品を口にすることができるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ・利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。		一人ひとりに合った方法で対応している。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) ・それぞれの希望される時間に、入浴することはできていない。 (外部評価) 入浴時間や順番について本人の希望を聞いているが、現在のところ夜間の対応は行っていない。職員は入浴を楽しむことの大切さを十分理解している。	※	利用者の希望に対応できるような入浴支援ができるように、時間にとらわれない様に行きたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) ・入居者一人ひとりの睡眠のパターンを把握し、不眠の入居者には、一日の生活リズム作りを通じた安眠策を取っている。		夜間の就寝時間も自由に消灯、時間にこだわらず、自由に過ごされている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ・一人ひとりに合った出来る事を把握し、お手伝いをお願いし、自信が持てるよう声かけ、場面作りの支援をしている。 (外部評価) 「なるべく何かの役割を担ってもらおう」という考えから、食事の準備・片付けに関わってもらおう利用者、洗濯物を畳む、日捲りを担当する、草取り、野菜作り、塗り絵、歌を歌う等、それぞれに日課があり、役割を楽しみごととして行っている。	※	利用者が無理なく出来る事を楽しく続けられるよう、支援している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ・家族の了解の下、お金を所持している方もいらっしゃる。 ・買い物際には、財布持っただき、一人ひとりの希望や、力量に応じて支援している。	※	一人ひとりの希望や力に応じた支援を続けていきたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 利用者全員の希望にはそっていないが、中庭での日光浴、散歩等は自由に行えるよう支援している。 (外部評価) 「1人、1か月に1回は買い物に行こう」を合言葉に外出支援に取り組んでいる。また、中庭での日光浴やホーム周りの散歩等、日常的に外の空気に触れることができるよう配慮している。	※	利用者のその日の希望を開き、できるだけ戸外にでかけられるように支援したい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ・定期的な、買い物、ドライブ等を行っている。 ・家族の協力があり、外泊や外出できる利用者もいらっしゃる。		家族と共に、外出の機会を持っていただけるよう、日常から、家族と密な関係が作れるように努力し、支援していきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ・電話、手紙の支援を行っている。		利用者の希望により、電話ができる。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ・お茶等をお出しし、居心地よく過ごしていただけるように対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ・全職員が理解できていない。	※	勉強会を実施し、身体拘束をしないケアに取り組む。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ・居室には、鍵はなく、日中は玄関に鍵はかけておらず、自由に出入りができる。 (外部評価) 職員は鍵をかけない暮らしの大切さを十分理解しており、ドアに鍵はかけていない。転落の危険性の高い利用者には安全面の配慮からベッド柵を使用することもあるが、利用に関して必ず家族の同意を得ている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ・日中、職員は、声を掛け合い、利用者の所在、様子を把握し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ・個々の状態に応じた保管、管理に努めている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ・個々の状態に応じた事故防止の対応を行い、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ・毎年、全職員が救命講習を受講している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ・定期的な、火災訓練の実施 ・災害時の近隣への協力要請をお願いしている。 (外部評価) 運営推進会議で紹介された消防団員の協力を得ながら、消防署による実践的な訓練を受けている。防火管理者がホーム内を点検して各居室誘導完了の表札を工夫しているほか、近隣住民にも協力を依頼している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ・利用者に変化があった場合、その都度家族に報告し、話し合う機会を持っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) ・毎朝のバイタルチェック、NSの訪問、Drの往診があり、体調変化や異変の発見に努め、気付きは速やかに報告している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・介護記録に個々の処方箋添付。職員が人目で分かるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・水分摂取、運動、食事面での工夫を行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) それぞれの能力に応じ、食後の口腔ケアと週一回のポリデント実施。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・一人ひとりの通常摂取量、好き嫌いを理解しており、声かけし、食べていただくようにしている。 ・水分チェック表の活用 (外部評価) 開設時は栄養士の指導による献立表を作成していたが、現在はそれを基本に1日1300～1400calを目安に、体重測定で状態を把握しながら栄養面のチェックを行っている。夏は食欲も落ちるので、利用者の嗜好を取り入れながら適切な栄養摂取に努めている。		ミキサー食、とろみ付けなどの工夫をし、十分な摂取ができるように対応している。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ・マニュアルがあり、手洗い、消毒等を実施している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ・食材は、前日納品、当日調理を行っている ・定期的な冷蔵庫の片付け、消毒 ・まないた、包丁、ふきんの消毒を毎日実施		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ・玄関周りに、花や植木が置いてある		玄関の戸を常時開放
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・壁に季節に合った作品を貼ってあり、電灯色はオレンジ系で温かい、雰囲気を演出している。 (外部評価) 共用空間に畳のスペースがあるためフロアは広いとは言えず、車いすの利用者が多くなると全員で食卓を囲むことも難しくなるが、肩寄せ合って生活している暖かい雰囲気はある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ・中庭、応接室や、畳の間を利用し、ゆったり過ごせるよう工夫している。		全室個室となっており、ひとりになれる場所として、居室で思い思いに過ごされている。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを持参されている方は少ないが、家族にお願いし、居室に馴染みの物を置いていただけるよう案内している。 (外部評価) 居室にはベッド、洋服ダンス、整理ダンスが備え付けられており、使い慣れた物品の持ち込みは少ないが、小物類の飾りで各部屋それぞれに個性があり、掃除も行き届いている。	※	家族と相談し、慣れひたしだものを、居室に置いて行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ・換気、温度調整を細めに行っている。		利用者さんに聞き、様子を見ながら、温度の調節をしている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ・手すりの設置、バリアフリーになっている。浴槽が一般浴槽のため安全策が必要。	※	・浴槽内のスベリ止め使用。肘かけイスの使用の検討
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) ・トイレの場所、居室を分かりやすく明記している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ・中庭を散歩したり、水やりや草引き、外気浴など、自由に楽しんでおられる。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	生活のリズム表情から意向を掴むことができる。また、会話を多く取れる方の割合から判断して。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一日の生活の中で、一緒に過ごす事が多い。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自己決定の出来る方は、中庭の散歩をしたり、テレビ鑑賞、午睡等、自分のペースで生活している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者と一緒に接し、話をしたり、それぞれの出来る事を見つけ、自信を取り戻していただける様に。(誘導、出来る方、意思を表現できる方を含め。)
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族の協力で外出の出来る方が限られているため。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	朝のバイタルチェック、週1回NSの訪問。Drの月2回の往診による健康管理、また必要に応じての病院受診の実施などにより家族は満足されている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々で、不満を持っている事があるため。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族との信頼関係が出来ているのは少数で、なかなか面会に来られない家族もいる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	食材の配達に来られる方はあるが、地域の人が訪ねて下さるのは、たまにあるため。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	・ 地区の消防団員さんの訪問 区長さんや民生委員さんとの情報交換
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	ほとんどの職員がストレスを持ちながら、業務している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自己決定できる利用者から、不満の声を聞く事があるため。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族から感謝の言葉を頂く事がある。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 介護記録の記入の改善、記録のファイル類を見やすくする。
- ・ レク委員会を中心に、地域の方々とのふれ合い、行事や企画、交流を行う予定。地域の文化祭への作品の出展など、地域の方にグループホーム星城を理解していただける様に接して行きたい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム星城

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)
氏名 山崎 より子

評価完了日 平成 20 年 7 月 28 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) ・理念としてはない。 ・地域密着は出来ていない。 (外部評価) 法人の運営理念には地域密着型サービスの役割は明記されていないが、ホーム独自のものとして年間目標という表題の全職員で検討した理念があり、地域との関わりを大切にしたいという気持ちが表現されている。	※	各階目標としてあげている (年間の)
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ・各フロアにて理念や目標を設定している。 (外部評価) 全職員で検討し表現した年間目標に基づき、各ユニット毎の目標、職員個人別目標も設置し、理念の実践に向けて努力している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ・新聞等で家族にお知らせしている。 ・地域には出来てない。	※	地域に浸透はなかなか難しくイベント事を増やし地域の広報などでお知らせする。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・あいさつやイベント等の案内状 ・災害時の応援のお願いをしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・お祭りやイベント事、清掃に参加する。 ・今年は文化祭に参加予定がある。 (外部評価) 地域との交流を深めたいとの思いから、さまざまな努力や工夫をしている。地域向けの新聞を毎月発行して各家庭に配布したり、地域の清掃や祭りに参加するほか、平成20年はホームで夕涼み会を開催し、子供を含め多くの方に参加してもらえ、好評を得ている。	※	地元の老人会参加を検討していきたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・地域貢献は出来てない。	※	今後地域に貢献できる様に運営推進会議等で話し合っていく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・去年の評価での改善点など、話し合っ改善に取り組んでいる。 (外部評価) 全職員が全項目について自己評価に取り組んでいる。前回の評価からの1年を振り返り、改善できた点、更に深めたい点等具体的に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ・運営推進会議で話し合い、意見を聞き、サービスの向上に向けての取り組みをしている。 (外部評価) 運営推進会議は2か月に1回開催し、記録もきちんと保管している。会を重ねるにつれ運営もスムーズになり、多くの情報交換も可能になっている。構成メンバーに利用者や家族も加わり、より積極的な会議になることが予測される。職員も会議に参加したい希望を持っており、今年8月に開催したホームの夕涼み会を推進会議と位置付け、全員で参加している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) ・市町村の職員から、気づきや情報を頂き向上に努めている。 (外部評価) 市主催の各種研修会や会議に参加したり、介護相談員も受け入れている。また、運営推進会議の構成メンバーとして、また法人主催の研修会の講師として参加していた。	※	管理者は、日常的に相談もでき、十分なアドバイスも得られる関係になりたいと考えており、更なる努力を期待したい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・研修に行った職員や一部の方のみわかっている。	※	研修や内部での勉強会をしていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ・言葉遣い、言葉かけの標語を作っている。 ・虐待については研修を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・説明し同意を得ている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・苦情受け付けのポストの設置 ・介護相談員が2ヶ月に1回来所されている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・家族の面会時や新聞等でお知らせをしている。 (外部評価) ユニット毎に毎月ホーム便りを作成し、郵送している。また、体調等の変化について、行事の案内やその他必要時には利用者を担当する職員が電話で連絡している。	※	家族はほんの些細なことでも利用者の状況を知らせてもらうとうれしいものであるため、更なる取組みを期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・苦情受け付けのポストの設置 (外部評価) 苦情に関する連絡先をホーム玄関に表示し、意見箱も設置しているが、家族等に活用されたことはない。ホームとしては家族の率直な意見をうかがいたいと願いから、年2回家族との懇談会も開催している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・月2回のケアカンファレンス、業務カンファレンスで職員と話し合い、意見をとり入れている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ・利用者の要望や状況に応じて職員の時間外勤務者の配置、勤務調整等で柔軟な対応をしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・利用者へのダメージ、配慮が難しい点がある。	※	異動時、事前（もう少し早め）に異動の打診を会社側からして頂くように話していく。
			(外部評価) 同法人が経営する事業所間での、経験や馴染みを考慮した異動はあるが、利用者になんらかの揺らぎを与えていることも考えられるため、その都度、職員は細心の注意を払って支援している。	※	マンネリ化を防ぐための異動も含めて、メリット・デメリットを十分検討した上での対応であると思われるが、利用者最優先の視点で取り組んでいくことを望みたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・研修や勉強会はしているが、一部の方が研修に行く事が多い。	※	一人ひとりのレベルを高めて行くために、職員順番に研修に行くように会社と話し合っていく。
			(外部評価) 研修案内等の情報は管理者から職員に伝え、希望者を募るシステムになっている。資格取得のための研修以外は常勤・非常勤を問わず参加でき、報告書を提出すれば経費の補助もあり、受講者はホーム内研修会で報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) ・同一社内のホームとの交流は出来ている。 (外部評価) 同法人が経営する事業所間での交流はできている。その他事業所とも交流を持ち、研修を通してサービスの質の向上を図りたいとの思いが実り、市サービス担当者会議主催で、互いのホームを見学・交流することになっている。	※	大洲市内のホームの見学をしていきたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ・職員間のストレスの軽減には努めているが、まだまだストレスが軽減してない様子	※	食事代の給料の差し引きは今後会社と話し合っていく。施設内の風通しを良くし、職員間で意見の共有を図っていく。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ・職員の個々の努力がわかっていない所がある。	※	もっと研修等に順番に行かせて頂くように会社と話し合っていく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・事前調査等で話を聞いている。 ・利用前に職員に周知している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ・事前調査等で話を聞いている。 ・利用前に職員に周知している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ・新しい利用者が決まった時に事前面接に訪問し入所の見極めをしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ・入居の決まった時点や事前にホーム見学をしていただき、馴染みの家具などを持ってきて頂ける様に話しているが馴染みの物が少ない (外部評価) まずホームを見学してもらい、入居を希望した場合は丁寧に面接して馴染みの関係づくりに取り組むなど、利用者の安心と納得を大切に支援に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ・自分で出来る事は一緒に行ったりしている。 (外部評価) 職員は業務に追われることもあるが、必ず利用者とはゆっくりした時間を持つよう心がけており、明るく穏やかな表情で対応している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・面会や電話連絡等で近況を報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ・事前調査や本人、家族から話を聞き関係を理解するように努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ・馴染みの家具を持ってきて頂いたり、住んでいた所(近場)に外出したりしている。	※	団体行動なので一人の要望を捉えにくいので、個々の要望に対応する。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ・企画への参加、散歩等交流が図れる様に努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ・死亡時の終了が多いが、その後のあいさつ等ホームに來所されている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ・利用者の要望を聞きカンファレンスにて検討している。 (外部評価) 本人の思いや希望は日常の会話や行動などから把握しているが、職員全員が共有するための記録は残されていない。	※	気付きノートに記録した内容は、日々のケアやカンファレンス時の大切な資料として有効に活用できると思われるため、活用等への取り組みを工夫することを望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ・生活歴の把握が出来ていない。	※	家族の面会時や利用者とのコミュニケーションをとる時に少しずつ聞き取りをする。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ・毎日の介護記録、経過観察記録などで他の職員にも把握できている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ・本人、家族に話を聞きカンファレンスでの説明、相談をしてケアマネと一緒に作成している。 (外部評価) 家族の来訪時や電話等で思いや希望を聞き、その情報は毎月のカンファレンスで共有し、検討している。外泊や墓参りの希望等はケアプランの中にも反映している。	※	情報を把握した職員が不在の場合などには情報が有効に活用されないことが想定されるため、家族等から得た情報をその都度職員間で共有できるような記録方法等についてさらなる検討を期待したい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ・ケアカンでケアプランを3ヶ月毎に見直し、変化があれば都度話し合い新しい計画を作成している。 (外部評価) 毎月カンファレンスを行い、3か月に1回見直しを行い、また状況に変化があればその都度変更している。利用者一人一人の情報不足も実感しており、センター方式を活用する取り組みをはじめている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ・ケアカンでケアプランを3ヶ月毎に見直し、変化があれば都度話し合い新しい計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 協力医療機関による往診と利用者の体調に合わせた受診を行っている。また、法人内のGH事業所及び保育施設との交流行事等を行っている。 (外部評価) 運営者は入院設備を持つ診療所の医師でもあり、医療に関するサービスは行き届いている。また、墓参り、仏事への参加、外泊支援等にも対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・不穏行為のある方は警察、消防団、地域の職員にお願いしている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ・以前は他の施設に詩吟をしに行っていたが今は、利用していない。	※	地域との交流、老人会や文化祭などに出かけて行きたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ・協働していない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・家族の了解を得て職員が受診している。 (外部評価) 入居時に本人及び家族の意向を十分確認している。基本的には協力医療機関を主治医に選ぶケースが多いが、協力医療機関になっていない専門医等へも受診を支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ・主治医の往診時に相談している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・毎日報告している。 ・週1回看護師来所の時に相談し支援をしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・早期退院が多いので連携できている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ・家族の意向を開き医療機関と連携をとっている。 (外部評価) 看取りに関する指針があり、本人及び家族に説明している。急変により看取った利用者1名のほか、看取りの指針に従って看取った方は2名おられる。職員は多職種のチームによる体制で望んだが、まだ不安が残っていると感じている。	※	看取りということに対する理解を含めて更に勉強していく予定とのことであるため、更なる研鑽を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ・家族には報告、職員や医療機関などと話し合い、支援に取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・事例がない		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ・一人ひとりの誇りを損ねないように注意しケアしている。 ・利用者間の情報を利用者の前では話さないようにしている。 (外部評価) 利用者のプライバシーを損ねるような対応をしてはいけないという共通認識があるが、さらに取り組みを徹底するために「関わり委員会」も結成し、徹底して取り組んでいる。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ・本人が選べるようにしている。 ・おやつ等を選んでもらったり、わかりやすいように説明をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者本人や家族の希望に沿って、利用者が過ごしやすい様に支援している。 (外部評価) 業務の都合を優先した関わりを持ってしまうこともあるが、その都度反省し、必ず利用者とは会話する時間を持つことを心がけている。	※	ゆったりとした空間作りや職員のペースにならないように職員間で話し合っている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ・本人や家族の希望に添うようにしている。 ・外部の理容院を利用するなど、個々に対応している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・食事の準備や片付けと一緒に職員としている。 ・好きな物を一緒に作って頂いている。 (外部評価) 重度化が進む中、一部の利用者ではあるが準備や片付けに参加している。調査日の昼食は「寿司」で、共に作業する利用者の姿や、鼻歌混じりの食事風景もあり、お茶をこぼした利用者を手助けする利用者の姿も見られた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ・おやつ等本人の希望が聞けるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ・排泄のパターンを調べ、職員が周知している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) ・希望を聞き入浴できるようにしている。 ・夜間の入浴は職員が一人の為に見守りが困難な為に行っていない。 (外部評価) 入浴時間や順番について本人の希望を聞いているが、現在のところ夜間の対応は行っていない。職員は入浴を楽しむことの大切さを十分理解している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) ・本人のペースに合わせている。 ・足浴、清拭も取り入れ気持ちよく眠れるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ・レクリエーションに参加してもらったり、一人ひとりの状態に合った取り組みをしている。 (外部評価) 「なるべく何かの役割を担ってもらおう」という考えから、食事の準備・片付けに関わってもらおう利用者、洗濯物を畳む、日捲りを担当する、草取り、野菜作り、塗り絵、歌を歌う等、それぞれに日課があり、役割を楽しみごととして行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ・お金を持つ事が出来る人は少額のお金を持ってもらいノートに記入して頂いている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) ・気分転換が必要な時は外に散歩やドライブの支援をしている。 (外部評価) 「1人、1か月に1回は買い物に行こう」を合言葉に外出支援に取り組んでいる。また、中庭での日光浴やホーム周りの散歩等、日常的に外の空気に触れることができるよう配慮している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ・外出の企画を立て、動物園、花見、ドライブ等に行っている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ・遠くに住んでいる家族に月に1回程度電話をし、本人さんに話して頂いている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ・お茶を出し本人さんがくつろげる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ・理解して取り組みが出来ている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ・鍵はかけず利用者個々に何をされているか職員はわかっている。 (外部評価) 職員は鍵をかけない暮らしの大切さを十分理解しており、ドアに鍵はかけていない。転落の危険性の高い利用者には安全面の配慮からベッド柵を使用することもあるが、利用に関して必ず家族の同意を得ている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ・出来ている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ・状況に応じて刃物を預かったりしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ・研修、防火訓練（年2回）救急救命講習（年1回）を行っている。 ・インシデント用紙を記入し、カンファレンス等で防止策を話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) ・急変時のマニュアル作成、救急救命講習（年1回）等を行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ・防火訓練（年2回）を行ったり、地域の消防団の方に施設の作りや避難経路などを見てもらっている。 (外部評価) 運営推進会議で紹介された消防団員の協力を得ながら、消防署による実践的な訓練を受けている。防火管理者がホーム内を点検して各居室誘導完了の表札を工夫しているほか、近隣住民にも協力を依頼している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ・説明し理解をして頂き、状態変化時は話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) ・毎日の報告、バイタル測定、看護師に報告している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・介護記録に薬状を付けているので理解できている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・水分のチェックや排便表の作成をし排便の状況を周知している。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ・個々に支援が出来ている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・食事量、水分量、一日のトータルで見ている記録がされている。 (外部評価) 開設時は栄養士の指導による献立表を作成していたが、現在はそれを基本に1日1300～1400calを目安に、体重測定で状態を把握しながら栄養面のチェックを行っている。夏は食欲も落ちるので、利用者の嗜好を取り入れながら適切な栄養摂取に努めている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ・マニュアルがあり職員間で話し合っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ・業者から毎日仕入れされた食材を持ってきてもらっており、日付の古い物は処分している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ・花や植え込みも玄関周りにあり入りやすい様に玄関のドアが夏、冬以外は開いている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・リビングに花を絶やさない様にしている。 (外部評価) 共用空間に畳のスペースがあるためフロアは広いとは言えず、車いすの利用者が多くなると全員で食卓を囲むことも難しくなるが、肩寄せ合って生活している暖かい雰囲気はある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ・畳の間にて座ってテレビを見られたりしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・馴染みの物を持ってこられている方もありますが、あまり馴染みの物がない。 (外部評価) 居室にはベッド、洋服ダンス、整理ダンスが備え付けられており、使い慣れた物品の持ち込みは少ないが、小物類の飾りで各部屋それぞれに個性があり、掃除も行き届いている。	※	新しい入居者には今まで使用していた物を持ってきて頂いて、自宅とあまり変化がない様にしている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ・消臭剤や換気扇をこまめに使い臭いなどには気を付けている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ・一人ひとりに対して対応が出来にくい生活環境があるが、その人らしい工夫をして生活していける様に工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) ・認知症が進行し少しずつ混乱状態がある。その時点で原因を聞き、わかる様に話をして治まる様に支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ・ベランダにプランターや、畑と一緒に利用者で行き、野菜などを収穫している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや暮らしは意向にまだ添えてない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	調理を一緒にしたり、盛りつけを一緒にしたりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者同士が時間を気にされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	関わる事によって笑顔が見られたりする事
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物の要望があってもすぐ対応が出来てない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々のバイタル測定、又医師、看護師に報告をし、必要時には受診を実施し、家族に連絡を入れるようにしている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況にあった柔軟な対応をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	全部利用者にあった事の報告が出来るほど信頼関係が出来てない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	利用者の知り合いがたまに訪ねて来られる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方がホームに来られる事により、理解はして頂ける様になった。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホームに出勤し利用者に関わるのが楽しみ。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員に関わる事で笑顔が見られたり相談されたりする。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	全ての要望に対して対応しきれていない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ハード面には問題があるが職員間で話し合い、何事も出来る様に取り組んでいる。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム星城

(ユニット名)

3階

記入者(管理者)

氏名

徳生ナナコ

評価完了日

平成 20 年 7 月 22 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 年間目標を作成している。 (外部評価) 法人の運営理念には地域密着型サービスの役割は明記されていないが、ホーム独自のものとして年間目標という表題の全職員で検討した理念があり、地域との関わりを大切にしたいという気持ちが表現されている。	※	地域の中でのグループホームを目指し、これからもアプローチしていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) いつでも見える所に理念を提示しており、企画などを通して取り組んでいる。 (外部評価) 全職員で検討し表現した年間目標に基づき、各ユニット毎の目標、職員個人別目標も設置し、理念の実践に向けて努力している。	※	地域の方と触れ合える企画を増やしていきたい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議やホームの新聞などで発信している。	※	もっと理解を深めて頂けるよう取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 通勤時、散歩時の挨拶は気を付けている。地域の行事に参加したり、また年末にはホームでついた餅を配ったりして気軽な付き合いが出来るよう努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 回覧板にホームの新聞を入れてもらい、地域の一員であることを認識して頂き、地区の行事に公民館の文化祭への参加に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 地域との交流を深めたいとの思いから、さまざまな努力や工夫をしている。地域向けの新聞を毎月発行して各家庭に配布したり、地域の清掃や祭りに参加するほか、平成20年はホームで夕涼み会を開催し、子供を含め多くの方に参加してもらえ、好評を得ている。	※	清掃活動の参加、保育園児との交流やひまわりの盆踊り等参加しているが、もっと交流していきたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で話し合っているが、具体的には行っていない。	※	地域の高齢者の方に役立てるようホームなりの貢献の仕方について考え取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 要改善の項目に対し前向きに取り組んでいる。 (外部評価) 全職員が全項目について自己評価に取り組んでいる。前回の評価からの1年を振り返り、改善できた点、更に深めたい点等具体的に検討している。	※	一人ひとりが理解して改善に向けて努力し、良いケアが提供できるよう取り組んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 公民館の文化祭への参加を企画している。 (外部評価) 運営推進会議は2か月に1回開催し、記録もきちんと保管している。会を重ねるにつれ運営もスムーズになり、多くの情報交換も可能になっている。構成メンバーに利用者や家族も加わり、より積極的な会議になることが予測される。職員も会議に参加したい希望を持っており、今年8月に開催したホームの夕涼み会を推進会議と位置付け、全員で参加している。	※	サービス向上となるよう取り組み地域とのつながりを大切にしていきたい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議や介護相談員の来所があり、サービス担当者会議に出席しサービスの向上に取り組んでいる。 (外部評価) 市主催の各種研修会や会議に参加したり、介護相談員も受け入れている。また、運営推進会議の構成メンバーとして、また法人主催の研修会の講師として参加していたっている。	※	勉強会の講師として来て頂いた。今後も機会を持って行っていきたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 一部の職員のみ研修などで学ぶ機会があったが、全員が理解するまでには至ってない。	※	新人スタッフと全職員が理解できるよう定期的に勉強する場を持っていきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) いつでもみえる所に理念を提示しており、企画などを通して取り組んでいる。	※	全スタッフが理解できるよう定期的に勉強会を開き、より一層防止に努めていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設へ見学に来て頂いたりして、不安・疑問点など、十分に聞き納得を得られるようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に入居者が参加し発言の場を設けている。また介護相談員が来所したりして、普段より意見が言いやすい雰囲気作りに努めている。	※	より一層信頼関係を築き、言いやすい環境作りに努めたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時やホームの新聞で行っている。体調については、すぐ報告できる体制をとっている。 (外部評価) ユニット毎に毎月ホーム便りを作成し、郵送している。また、体調等の変化について、行事の案内やその他必要時には利用者を担当する職員が電話で連絡している。	※	家族はほんの些細なことでも利用者の状況を知らせてもらうとうれしいものであるため、更なる取組みを期待する。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に家族も参加してもらっている。意見の言いやすい雰囲気作りに努め、意見箱を設置している。 (外部評価) 苦情に関する連絡先をホーム玄関に表示し、意見箱も設置しているが、家族等に活用されたことはない。ホームとしては家族の率直な意見をうかがいたいと願いから、年2回家族との懇談会も開催している。	※	家族主体の家族会発足に向けて、提案している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ケアカンファレンスは各フロアで行っている。 業務カンファレンスは全体で行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整を努めている	(自己評価) 行事企画には時間外勤務者が出勤している。 緊急時など、連絡網にて出勤している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動・退職時など入居者に知らせないようにしているが、引き継ぎは十分に行っている。	※	異動は防げないが、なるべくなじみの関係でいられるよう、チームワークで配慮している。
			(外部評価) 同法人が経営する事業所間での、経験や馴染みを考慮した異動はあるが、利用者にならざる動揺を与えていることも考えられるため、その都度、職員は細心の注意を払って支援している。	※	マンネリ化を防ぐための異動も含めて、メリット・デメリットを十分検討した上での対応であると思われるが、利用者最優先の視点で取り組んでいくことを望みたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修に参加し、研修報告をしている。 ホーム内での勉強会を行っている。	※	法人内での人材育成への研修が不足している。
			(外部評価) 研修案内等の情報は管理者から職員に伝え、希望者を募るシステムになっている。資格取得のための研修以外は常勤・非常勤を問わず参加でき、報告書を提出すれば経費の補助もあり、受講者はホーム内研修会で報告している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 法人外グループホームと交流も持ち総合訪問を行っている。 (外部評価) 同法人が経営する事業所間での交流はできている。その他事業所とも交流を持ち、研修を通してサービスの質の向上を図りたいとの思いが実り、市サービス担当者会議主催で、互いのホームを見学・交流することになっている。	※	今後も機会を増やしていきたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 忘年会など行われているが一人ひとりのストレス軽減に向けた取り組みはされていない。 上席者が悩みを聞くようにしている。	※	専門員などによるカウンセリングが受けられるように期待したい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 有資手当てをつけ、資格取得といった向上心を持てるように取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査を行い、本人の思いを理解するようにしている。 施設内の見学を進め、見学に来て頂いてる。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査を行い、家族の思いを理解している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) その方にあった支援やサービスが受けられるように対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に見学に来てもらったり、こちらから面会に行き、入居時には顔見知りのスタッフがいるようにし、他入居者とも徐々に馴染めるような雰囲気作りに全スタッフが工夫している。 (外部評価) まずホームを見学してもらい、入居を希望した場合は丁寧に面接して馴染みの関係づくりに取り組むなど、利用者の安心と納得を大切に支援に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 出来る事は出来るような支援をし、スタッフが「ありがとう」が言えるような支援をしている。 (外部評価) 職員は業務に追われることもあるが、必ず利用者としてゆっくりした時間を持つよう心がけており、明るく穏やかな表情で対応している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には、家族の思いを聴き取れるような会話に努め、理解していただけるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 年末年始や盆の外出・外泊をアプローチして本人が家族と十分なコミュニケーションが取れるように支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの美容室への利用や墓参りなど本人の大切にしてきた場所にも行けるよう企画を立て家族にもアプローチしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) トラブルにならないような環境作りをし、レクリエーションや外出を通して関係が良好であるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院時の情報提供を行っている。 お見舞いに行くようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話より本人の思いを聞き取るようにしている。 (外部評価) 本人の思いや希望は日常の会話や行動などから把握しているが、職員全員が共有するための記録は残されていない。	※	気付きノートに記録した内容は、日々のケアやカンファレンス時の大切な資料として有効に活用できると思われるため、活用等への取り組みを工夫することを望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査時や面会時に家族に聞く。 聞きづらい事があるが、少しずつアセスメントを行い把握している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 全スタッフが把握できるよう申し送りを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日々の会話や面会時の会話よりアセスメントを行っており、月1回のカンファレンスで話し合っている。 (外部評価) 家族の来訪時や電話等で思いや希望を聞き、その情報は毎月のカンファレンスで共有し、検討している。外泊や墓参りの希望等はケアプランの中にも反映している。	※	情報を把握した職員が不在の場合などには情報が有効に活用されないことが想定されるため、家族等から得た情報をその都度職員間で共有できるような記録方法等についてさらなる検討を期待したい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 期間に応じて見直しをしている。また、変化が生じた時も速やかに見直している。 (外部評価) 毎月カンファレンスを行い、3か月に1回見直しを行い、また状況に変化があればその都度変更している。利用者一人一人の情報不足も実感しており、センター方式を活用する取り組みをはじめている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に申し送りを徹底し、情報が共有できるようにしている。 生活サイクルの記録となっている。	※	認知ケアの気付きとしての記録をしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 月2回の往診と体調に合わせた受診 家族への電話の取り次ぎ、買い物の利用、墓参り、仏事などにも必要に応じて対応している。 (外部評価) 運営者は入院設備を持つ診療所の医師でもあり、医療に関するサービスは行き届いている。また、墓参り、仏事への参加、外泊支援等にも対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 2ヵ月に1回の介護相談員の来所。 年2回の避難訓練。 園児とのふれあい。 ボランティアの受け入れ。 中学生の体験学習を行っている。	※	地元の小学生とも交流を図っていきたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望で理容室サービスを受ける事ができる。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターと協働していない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医がおり、往診可能である。 (外部評価) 入居時に本人及び家族の意向を十分確認している。基本的には協力医療機関を主治医に選ぶケースが多いが、協力医療機関になっていない専門医等へも受診を支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医が相談に応じているほか、必要時には精神科（協力医療機関）との連携体制をとっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 相談出来る体制になっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 系列に診療所がある為、連携できている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) スタッフ全員が共有できるようにしている。 (ターミナルを経験) (外部評価) 看取りに関する指針があり、本人及び家族に説明している。急変により看取った利用者1名のほか、看取りの指針に従って看取った方は2名おられる。職員は多職種のチームによる体制で望んだが、まだ不安が残っていると感じている。	※	看取りということに対する理解を含めて更に勉強していく予定とのことであるため、更なる研鑽を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) D1・D2 (できること・できなことシート) の取り入れその人らしさや思いを大切に支援をしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換を十分にしている。		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) その方のプライドを尊重したケアを心がけている。 個人情報の取り扱いには十分注意している。 (外部評価) 利用者のプライバシーを損ねるような対応をしてはいけないという共通認識があるが、さらに取組みを徹底するために「関わり委員会」も結成し、徹底して取り組んでいる。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 満足できる暮らしになるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その方の体調や性格などのペースに合ったケアに取り組んでいる。 (外部評価) 業務の都合を優先した関わりを持ってしまうこともあるが、その都度反省し、必ず利用者と会話する時間を持つことを心がけている。	※	自由に過ごせる時間を大切に、趣味を持って過ごしていただけるように支援していきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 馴染みの美容室へ行って頂いていたが、少しずつ出来なくなっている為、出張美容を利用してる。	※	外出時、時間を多めに取っておしゃれが出来るよう準備し、外出する喜びを感じて頂けるように支援していきたい。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一部の入居者であるが、準備や片付けを一緒に行っている。 献立に好みや希望が反映されるように努めている。 (外部評価) 重度化が進む中、一部の利用者ではあるが準備や片付けに参加している。調査日の昼食は「寿司」で、共に作業する利用者の姿や、鼻歌混じりの食事風景もあり、お茶をこぼした利用者を手助けする利用者の姿も見られた。	※	誕生日の好きな物を出すメニューを考えていけるよう取り組んでいきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつ・移動パン屋利用している。	※	その人の好みを理解できるよう日頃の会話で聞き取り、支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 定期的なトイレ誘導を行った結果トイレでの排泄が出来るようになった。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 順番などできるだけ希望に添えるよう努めている。入浴はできるだけゆっくりと楽しめるようにしている。また、一緒に入浴する方法もあり、個々に対応している。使用後の浴室の換気にも気を付けている。 (外部評価) 入浴時間や順番について本人の希望を聞いているが、現在のところ夜間の対応は行っていない。職員は入浴を楽しむことの大切さを十分理解している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 昼寝がしたい方・早く寝たい方・テレビを見てから休みしたい方、その方に合った支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 趣味や好きな事が出来る環境作りに努めている。 (外部評価) 「なるべく何かの役割を担ってもらおう」という考えから、食事の準備・片付けに関わってもらおう利用者、洗濯物を畳む、日捲りを担当する、草取り、野菜作り、塗り絵、歌を歌う等、それぞれに日課があり、役割を楽しみごととして行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望される方には、家族了解のもと、所持されている。買い物時は自分で支払われている。	※	外出への拒否が多くなっている為、外出したくなるような声かけをしていきたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物などの支援をしている。 (外部評価) 「1人、1か月に1回は買い物に行こう」を合言葉に外出支援に取り組んでいる。また、中庭での日光浴やホーム周りの散歩等、日常的に外の空気に触れることができるよう配慮している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別には行ってないが家族の協力で外出されている。毎年、かまぼこ板の絵展覧会には作品を出品して、全員で出かけている。	※	普段行けない所へ個別ケアで連れて行ってあげたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状や手紙など提出し、プライバシーの保護には十分配慮している。	※	字を書く事が少なくなってきた為、日頃より字を書く場面を作っていきたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族以外の友人知人など、訪問していただいている。居心地よく頻回に来ていただけるような環境作りを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束のないケアに取り組んでいる。	※	全員が把握できるように定期的に勉強会を行っていきたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全員が理解しており取り組んでいる。 (外部評価) 職員は鍵をかけない暮らしの大切さを十分理解しており、ドアに鍵はかけていない。転落の危険性の高い利用者には安全面の配慮からベッド柵を使用することもあるが、利用に関して必ず家族の同意を得ている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 身体状況を毎日確認し所在には十分注意している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その方の状態に応じて取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) その方に応じた対応を全員が理解している。	※	ヒヤリハットの活用が、不十分であるので活用していききたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 年1回救命講習を行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回防火訓練を実施。 地域の方の連絡網を作成している。 (外部評価) 運営推進会議で紹介された消防団員の協力を得ながら、消防署による実践的な訓練を受けている。防火管理者がホーム内を点検して各居室誘導完了の表札を工夫しているほか、近隣住民にも協力を依頼している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族会で話をし、理解を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い、状態の観察を行っている。 看護師に報告し、対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) すぐに確認できるようファイルしている。	※	スタッフ全員が副作用について理解するよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 予防と対応に取り組んでいる。	※	身体を動かす働きかけを増やしていきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 拒否の強い方も少しずつ出来るようになってきている。毎食後、歯磨きの声かけを行っている。週1回ポリデント実施をしているが、拒否する方がいる為全員ではない。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し支援している。食事摂取量のチェックと水分摂取量のチェックを行っている。 (外部評価) 開設時は栄養士の指導による献立表を作成していたが、現在はそれを基本に1日1300～1400calを目安に、体重測定で状態を把握しながら栄養面のチェックを行っている。夏は食欲も落ちるので、利用者の嗜好を取り入れながら適切な栄養摂取に努めている。	※	食事が減ってきている方への個々の支援をしていきたい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し、勉強会等により各スタッフへの周知を図っている。トイレ及び手すり等の共有部分については、定期的に除菌を行っている。	※	スタッフ間での勉強会で行っている。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具などの除菌や台所の掃除をまめに行い、常に衛生的にあるよう努め、食品の管理にも気を付けている。	※	台所の清潔は常に心がけているが、これからもスタッフ全員が気を付けていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりは花を置き、ドアをオープンにし出入りしやすい雰囲気を作っている。 3階の為、入口付近は殺風景であるが明るい挨拶を心がけている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) フロアの窓が西側の為、午後からはカーテンをするなど対応している。 壁面など季節感もてるようにし、テーブルには季節の花を生けるようにしている。 (外部評価) 共用空間に畳のスペースがあるためフロアは広いとは言えず、車いすの利用者が多くなると全員で食卓を囲むことも難しくなるが、肩寄せ合って生活している暖かい雰囲気はある。	※	生活感がある居心地よい空間作りへの取り組みをしている。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居室以外で1人になれる場所はないが、思い思いに過ごせるよう支援している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた物を持って来て頂いたり、好みの花を置いたりしている。 簡易ベットを用意し、家族の方も宿泊できるようにしている。 (外部評価) 居室にはベッド、洋服ダンス、整理ダンスが備え付けられており、使い慣れた物品の持ち込みは少ないが、小物類の飾りで各部屋それぞれに個性があり、掃除も行き届いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は日頃から気を配っている。 温度調節も入居者に合わせて、こまめに調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 椅子が高い為に一部であるが、踏み台を置き対応している。	※	トイレ時、踏み台を利用したりして工夫できるような支援をしていきたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 見やすく分かりやすい日めくりの手作りカレンダーを設置している。 自室前には、大きな字で名前が付いている。	※	その方に応じて引き出せる環境を取り組みたい。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダではプランターや花やイチゴなどを育てて、草引きや水やりを行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意志疎通の困難な入居者の思いを完全に理解しているとは言えない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	同じ時間を共有している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフの都合を優先してしまう時がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個別の支援により、生き生きした表情や姿がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい所へ行けない入居者もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	24時間体制で主治医と看護師が往診可能。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	認知症ケアを理解しているスタッフがいる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	信頼関係を築けており、家族からも信頼を得ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	友人・知人・ボランティアの方が来られる。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	理解者は増えてきていると思うが、応援者の増加はあまり感じない。
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	明るく元気に仕事が出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者の思い通りになるような対応がおおむね出来ていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	おおむね満足していると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・入居者の方の話を傾聴し、笑顔を引き出すよう支援している。
- ・入居者の方のペースに合わせ、「待つ介護」を心掛けている。